

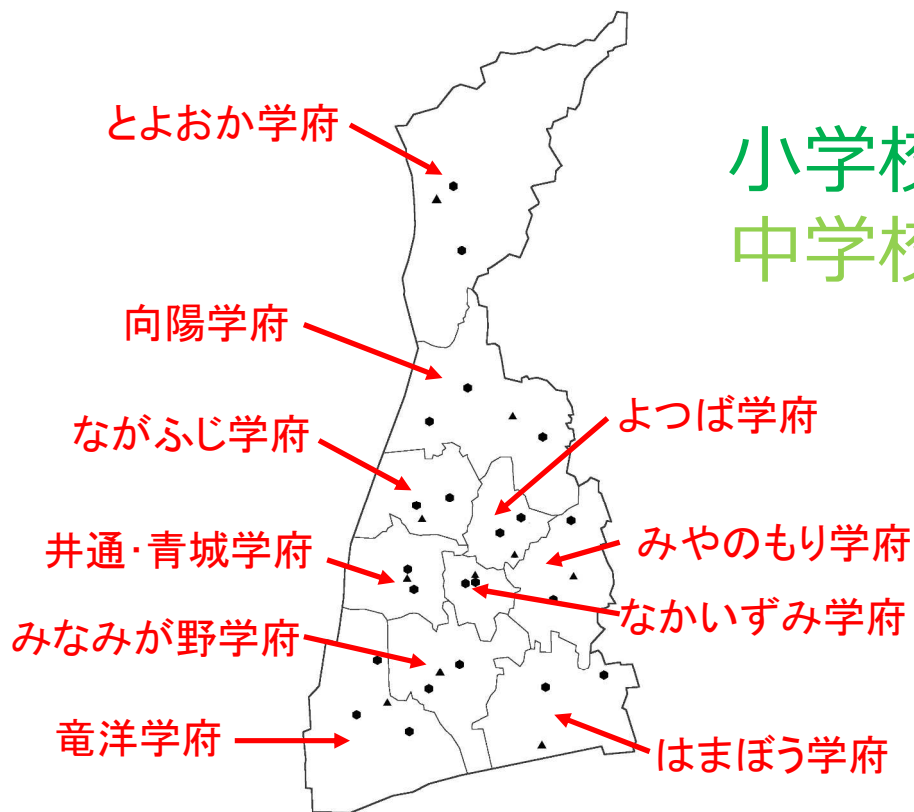
新時代の新たな学校づくり

～「人と人とのつながり」の進化～

なごみの学府小中一体校

磐田市教育委員会

磐田市内の小中学校



小学校	22校	8,226人(R7.4.1現在)
中学校	10校	4,333人(R7.4.1現在)

※ **「学府」** ……律令時代、遠江の国府のあった磐田の地で、各中学校区が地域の歴史と文化等を踏まえ、それぞれの地域と連動した教育を行う中学校区の学校群（学府）

磐田市の教育をより充実発展させるために～人と人との「つながり」を深める～
・子ども同士のつながり ・地域とのつながり ・教員のつながり

<小中一貫教育>

向陽中 文化発表会
参観

小学校のあいさつ運動へ
中学生が参加

6年生 三小交流

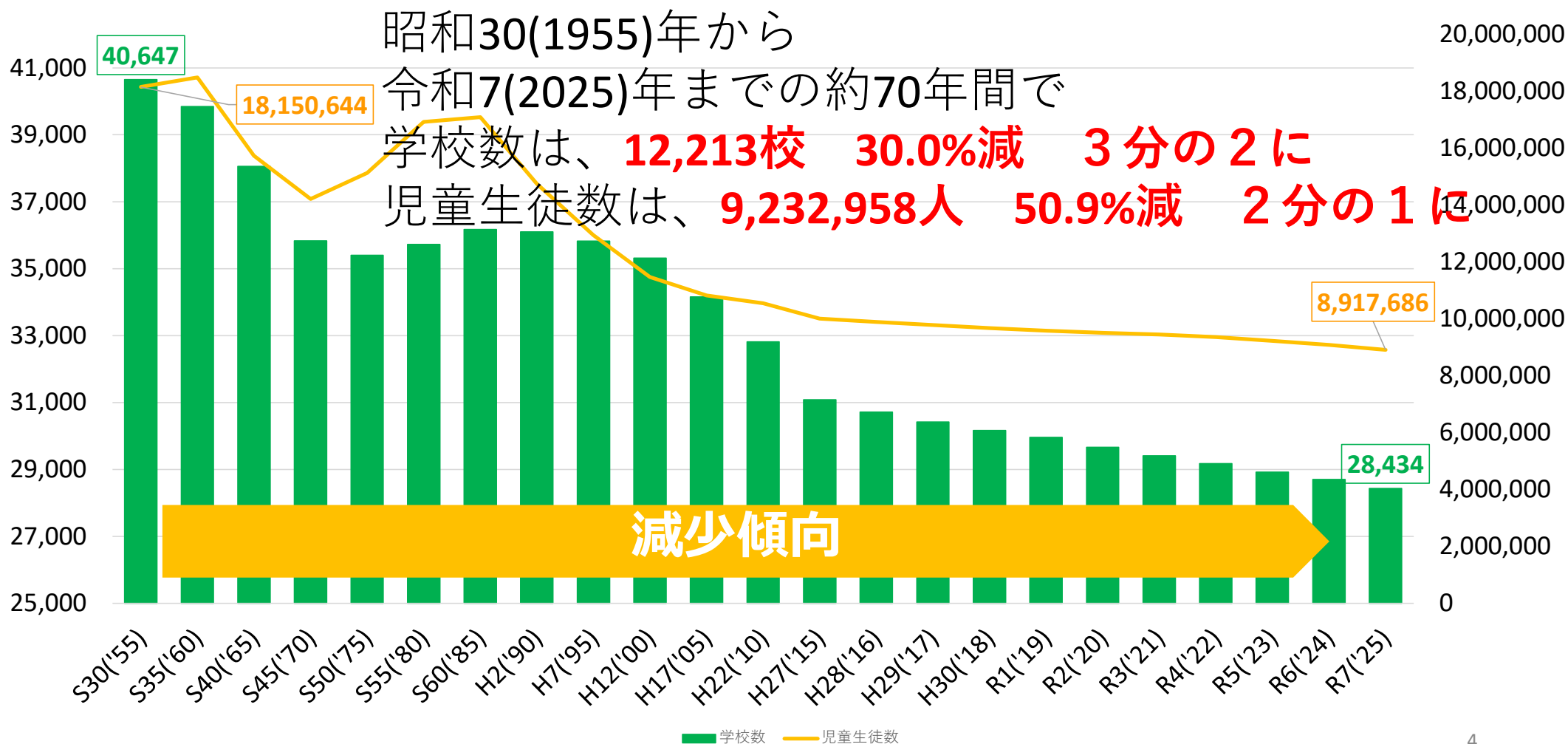
<コミュニティ・スクール>

食農体験支援(サツマイモ)

読み聞かせボランティア

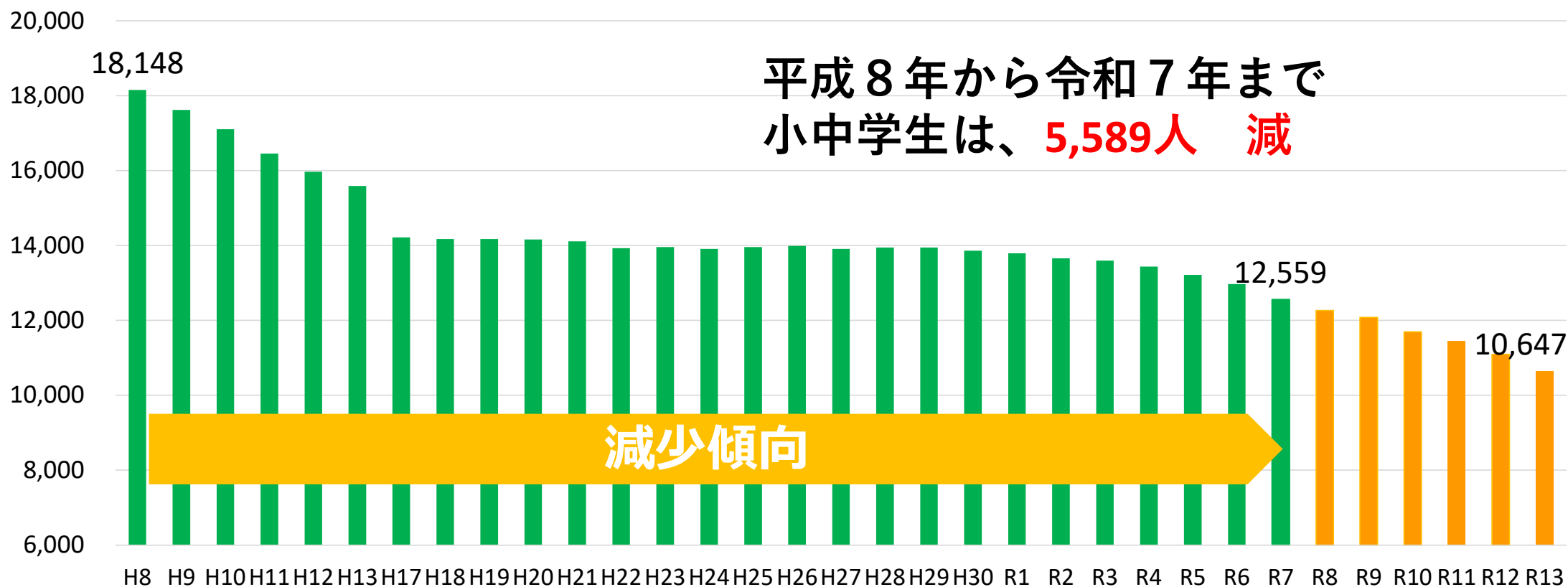
学習支援

小学校の学校数・児童数（全国）



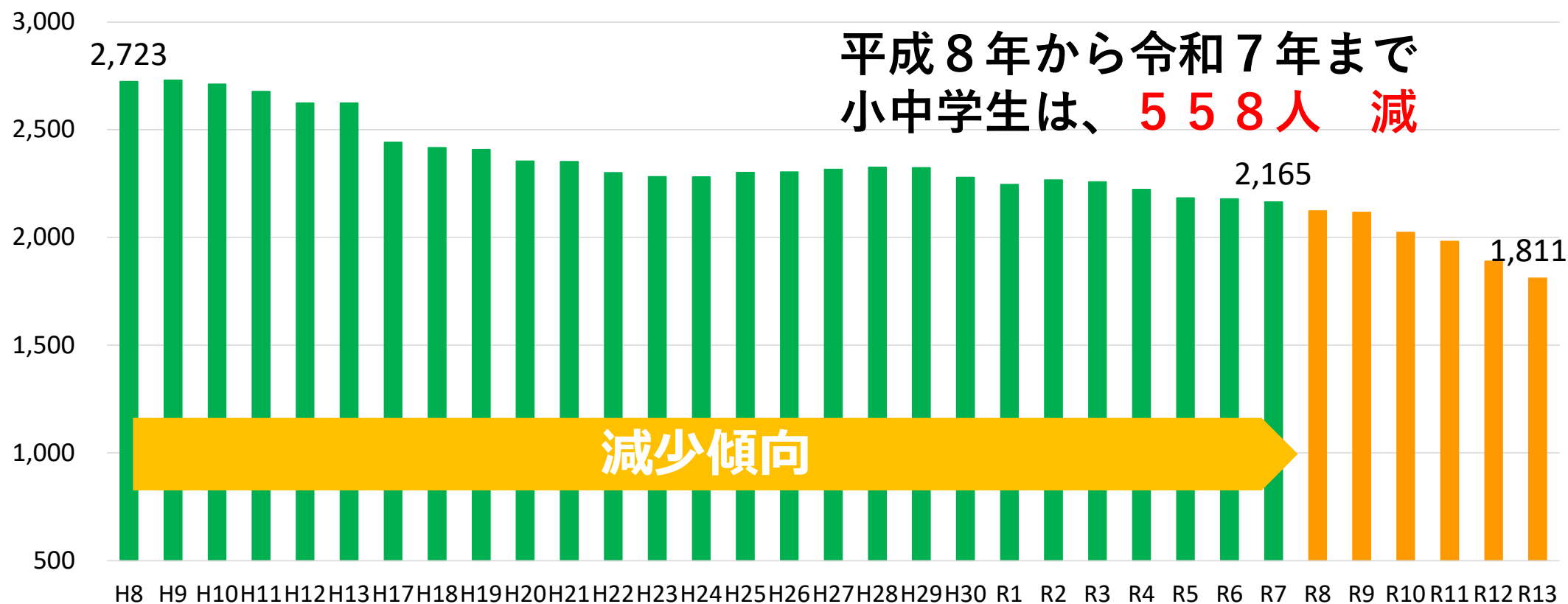
児童・生徒数の推移（磐田市全体）

年度別グラフ（小・中学校合計／全体）



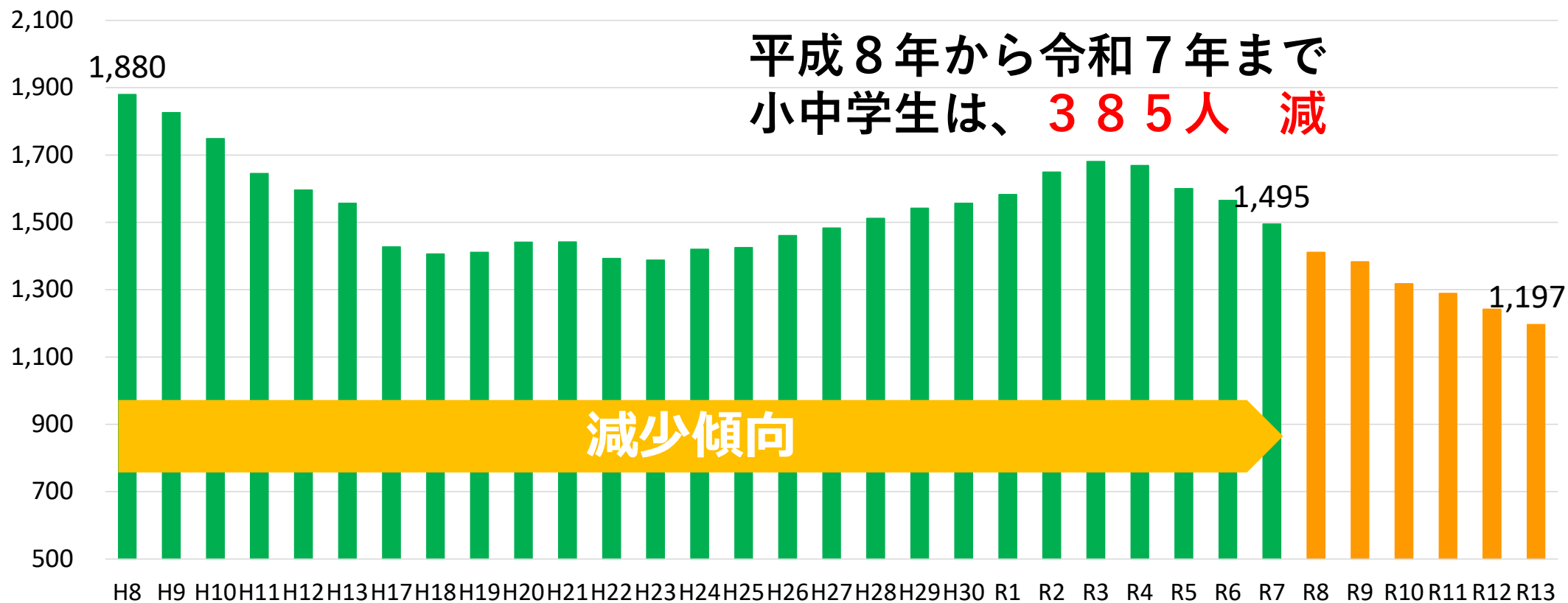
児童・生徒数の推移（よつば学府）

年度別グラフ（小・中学校合計／よつば学府）



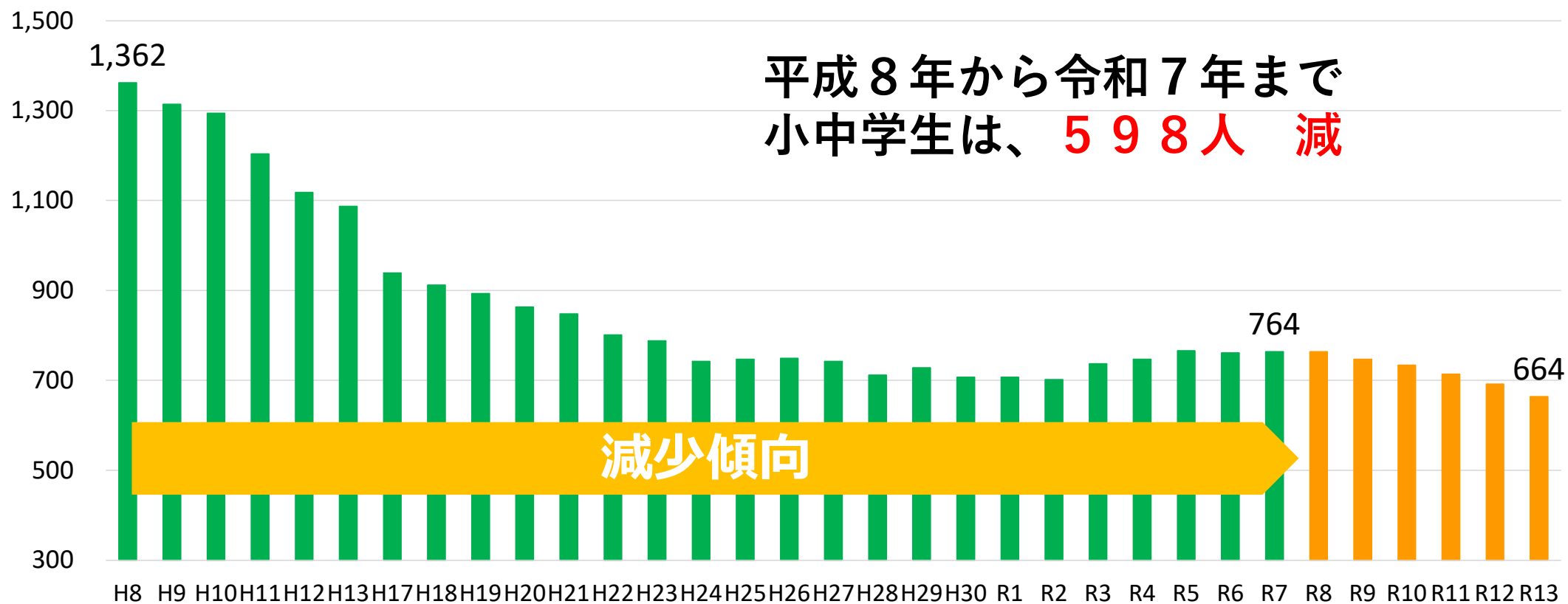
児童・生徒数の推移（なかいずみ学府）

年度別グラフ（小・中学校合計／なかいずみ学府）



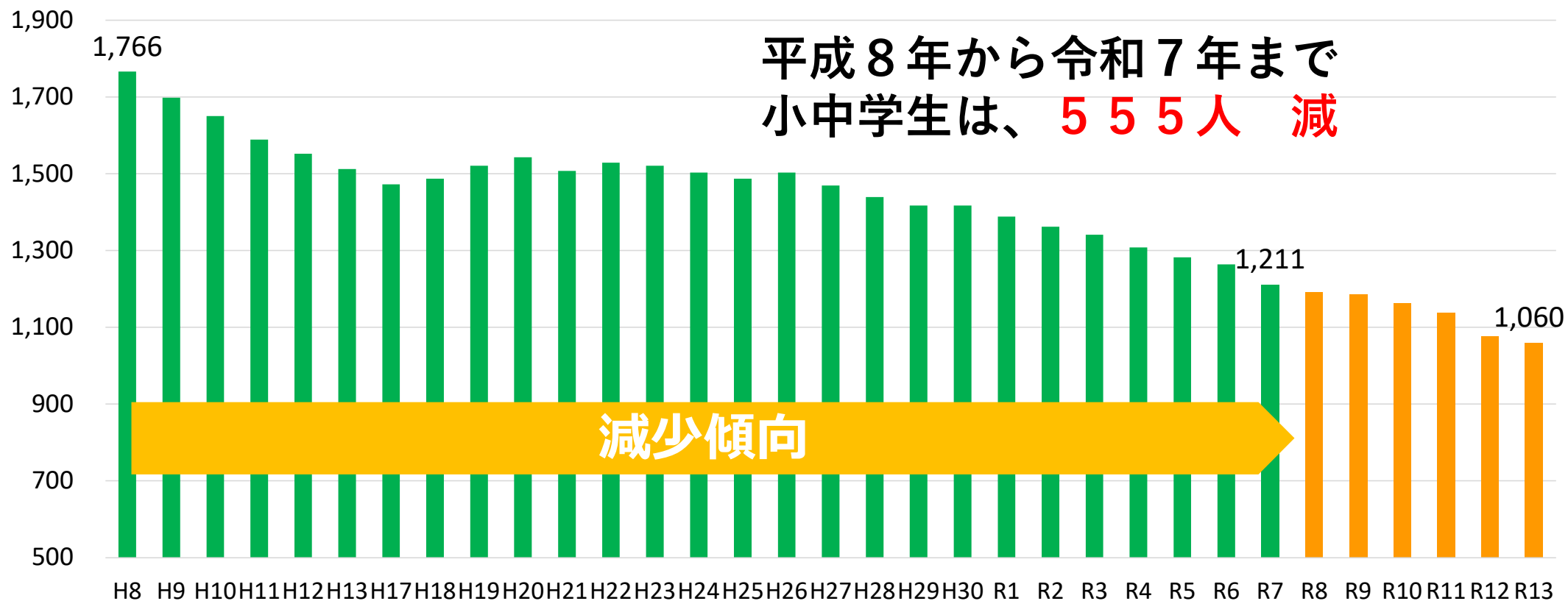
児童・生徒数の推移（向陽学府）

年度別グラフ（小・中学校合計／向陽学府）



児童・生徒数の推移（みなみが野学府）

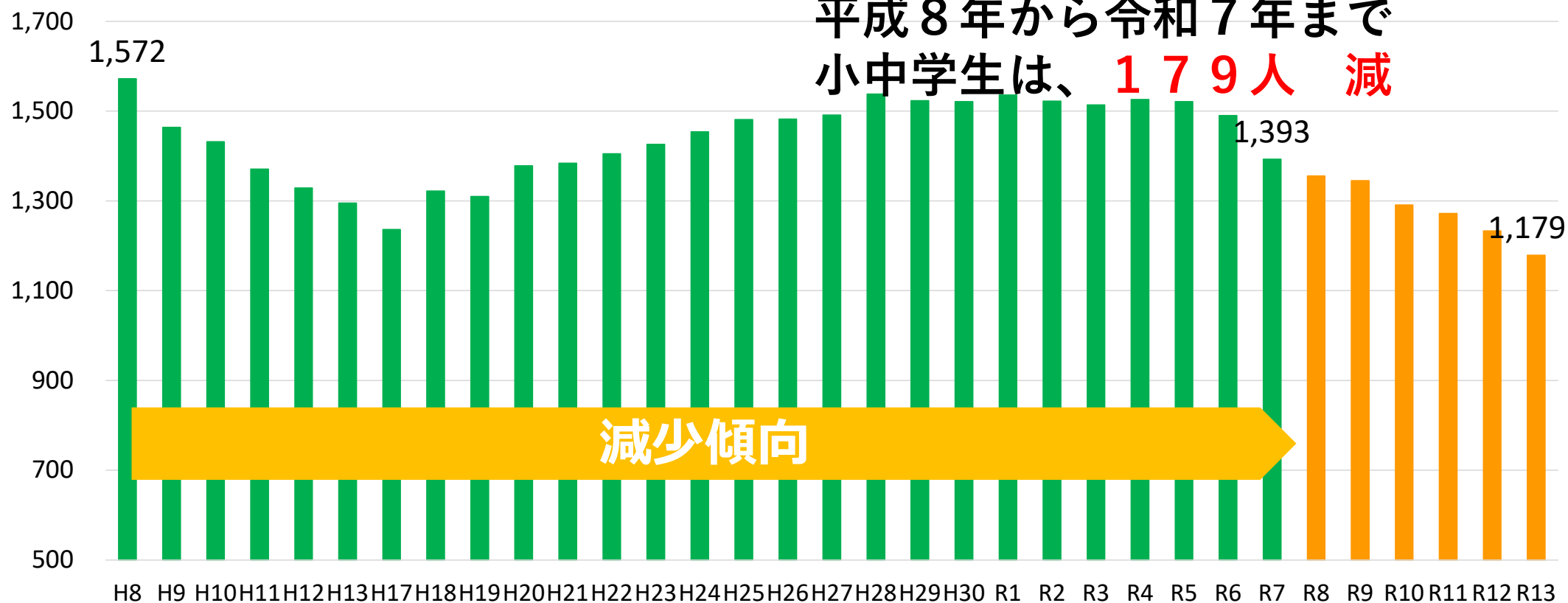
年度別グラフ（小・中学校合計／みなみが野学府）



児童・生徒数の推移（みやのもり学府）

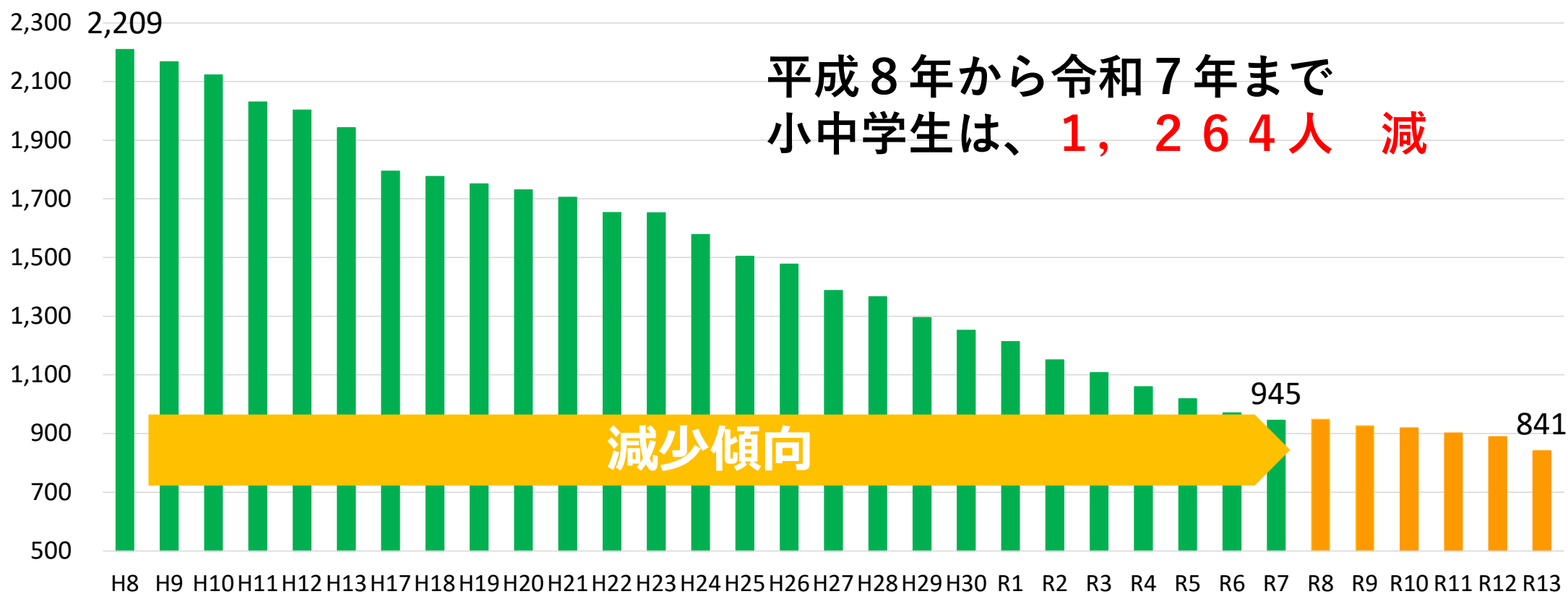
年度別グラフ（小・中学校合計／みやのもり学府）

平成8年から令和7年まで
小中学生は、**179人減**



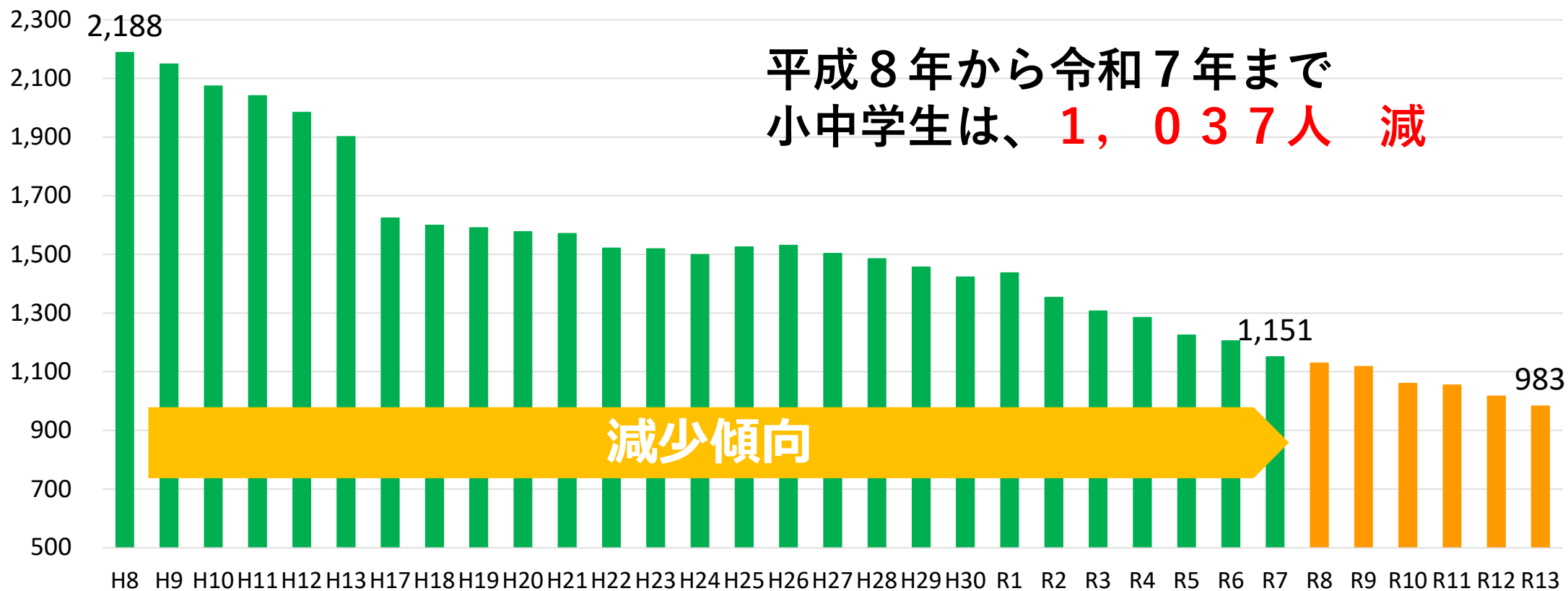
児童・生徒数の推移（はまぼう学府）

年度別グラフ（小・中学校合計／はまぼう学府）



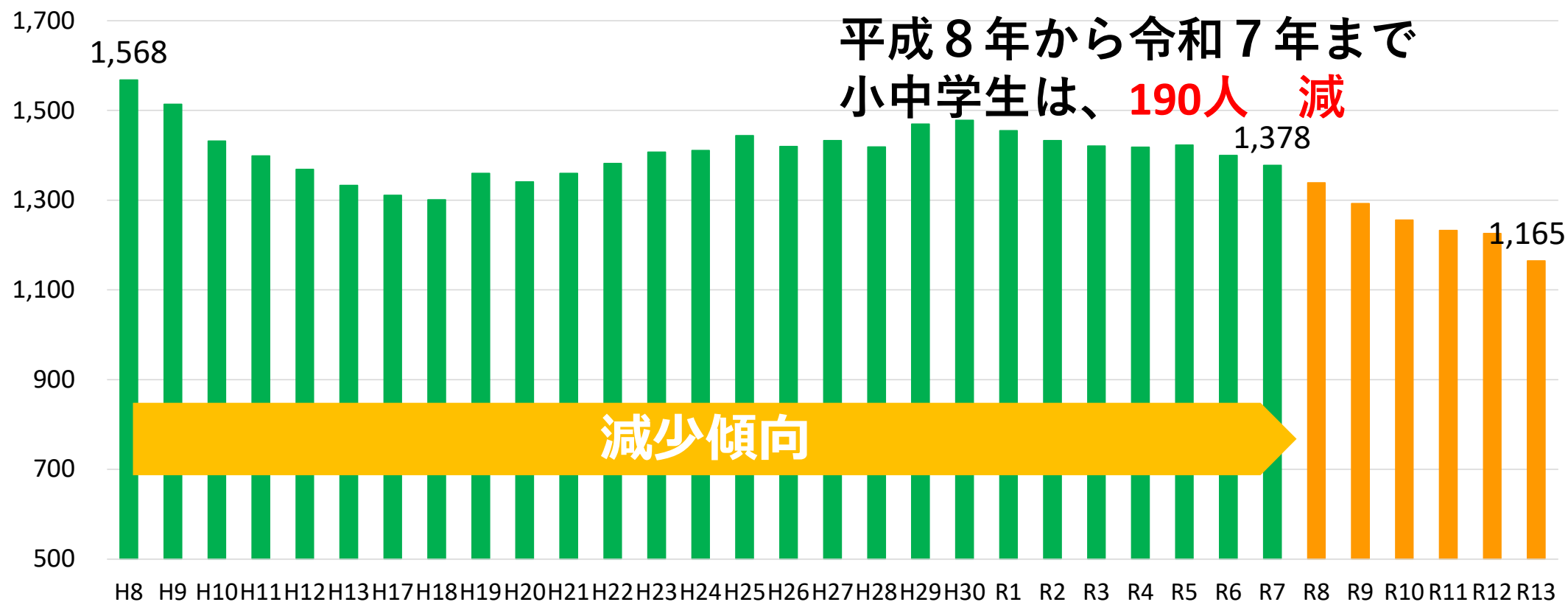
児童・生徒数の推移（竜洋学府）

年度別グラフ（小・中学校合計・竜洋学府）



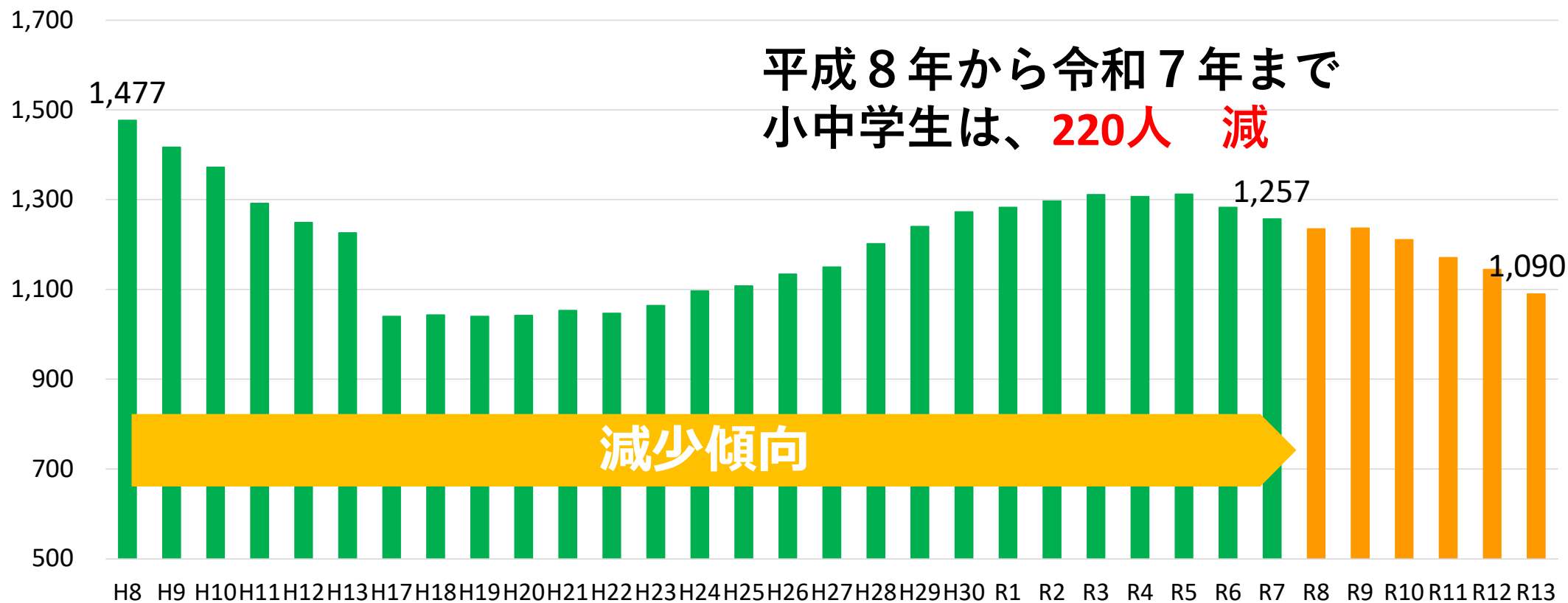
児童・生徒数の推移（青城・井通学府）

年度別グラフ（小・中学校合計／青城・井通学府）



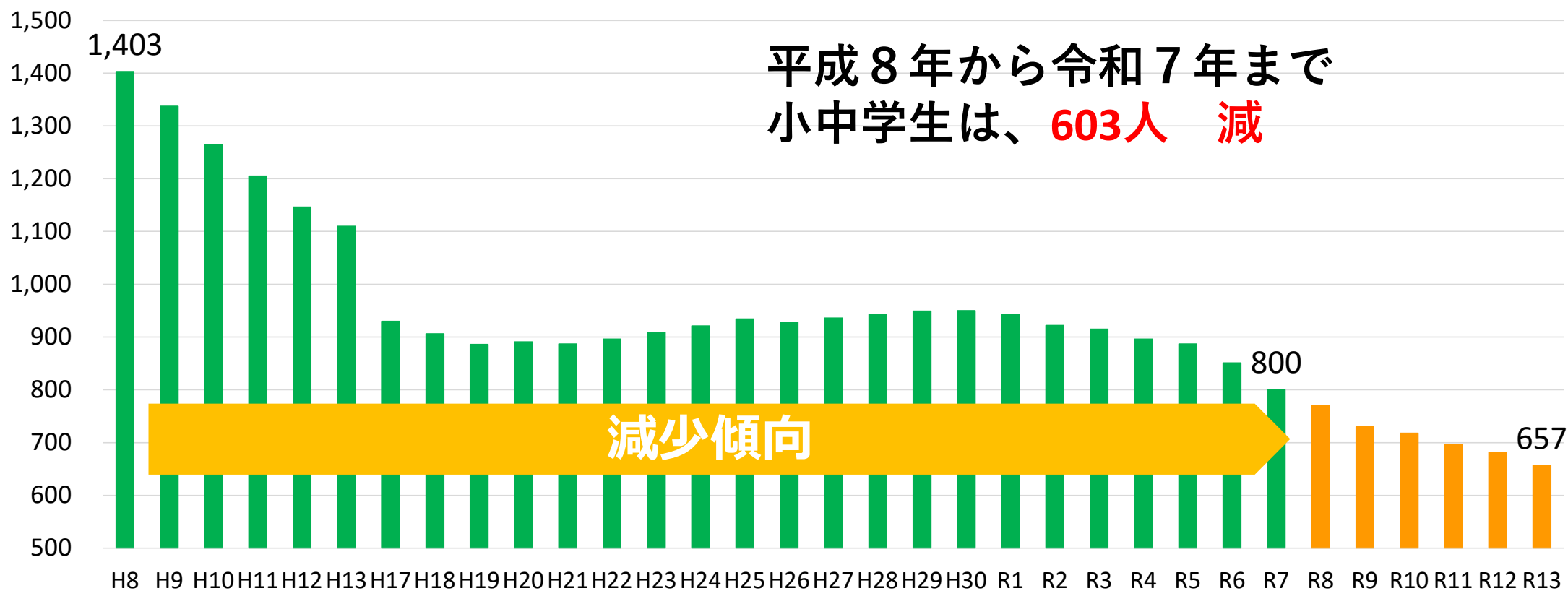
児童・生徒数の推移（ながふじ学府）

年度別グラフ（小・中学校合計／ながふじ学府）



児童・生徒数の推移（とよおか学府）

年度別グラフ（小・中学校合計／とよおか学府）



学校の現状

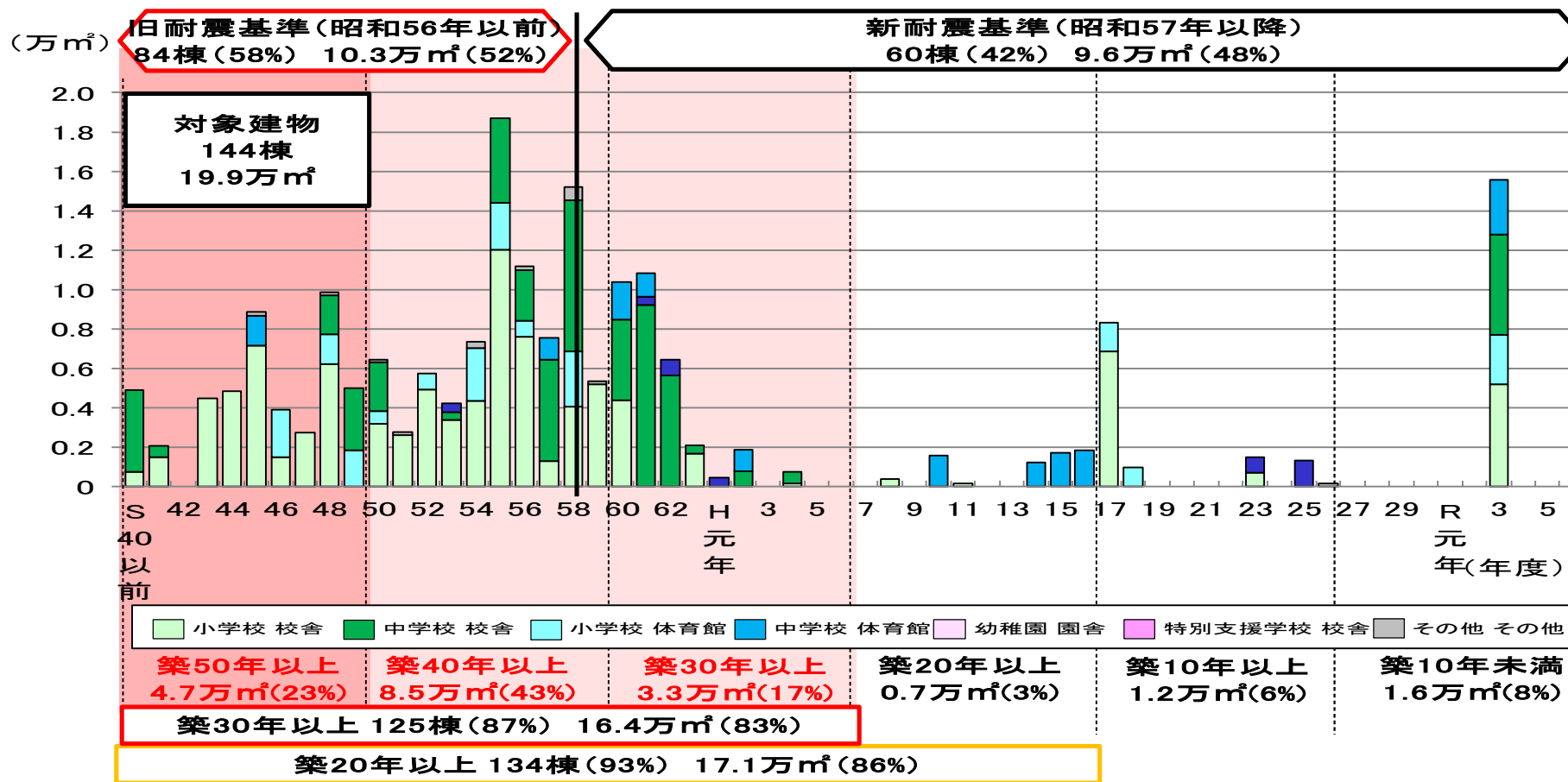
傾向として

- 特別支援学級や通級指導教室、外国人児童生徒指導教室、校内教育支援センター（心の教室）等の増加
- 放課後児童クラブ(小学校) の併設等

空き教室が少ない(不足) している学校もある状況

学校施設の現状（築年別整備状況）

築年別整備状況



これからの子どもたちが生きる時代 ～新時代の到来～

先行きが不透明で、将来の予測が困難な時代

- 技術革新
- 人工知能(AI)、DX(デジタルトランスフォーメーション) 等
- 経済や社会のグローバル化
- 人口減少、少子高齢化⇒個々人の孤立化、人間関係の希薄化、地域コミュニティの衰退
- 予測できない国際情勢、自然災害 等

新時代の新たな学校づくりに向けて

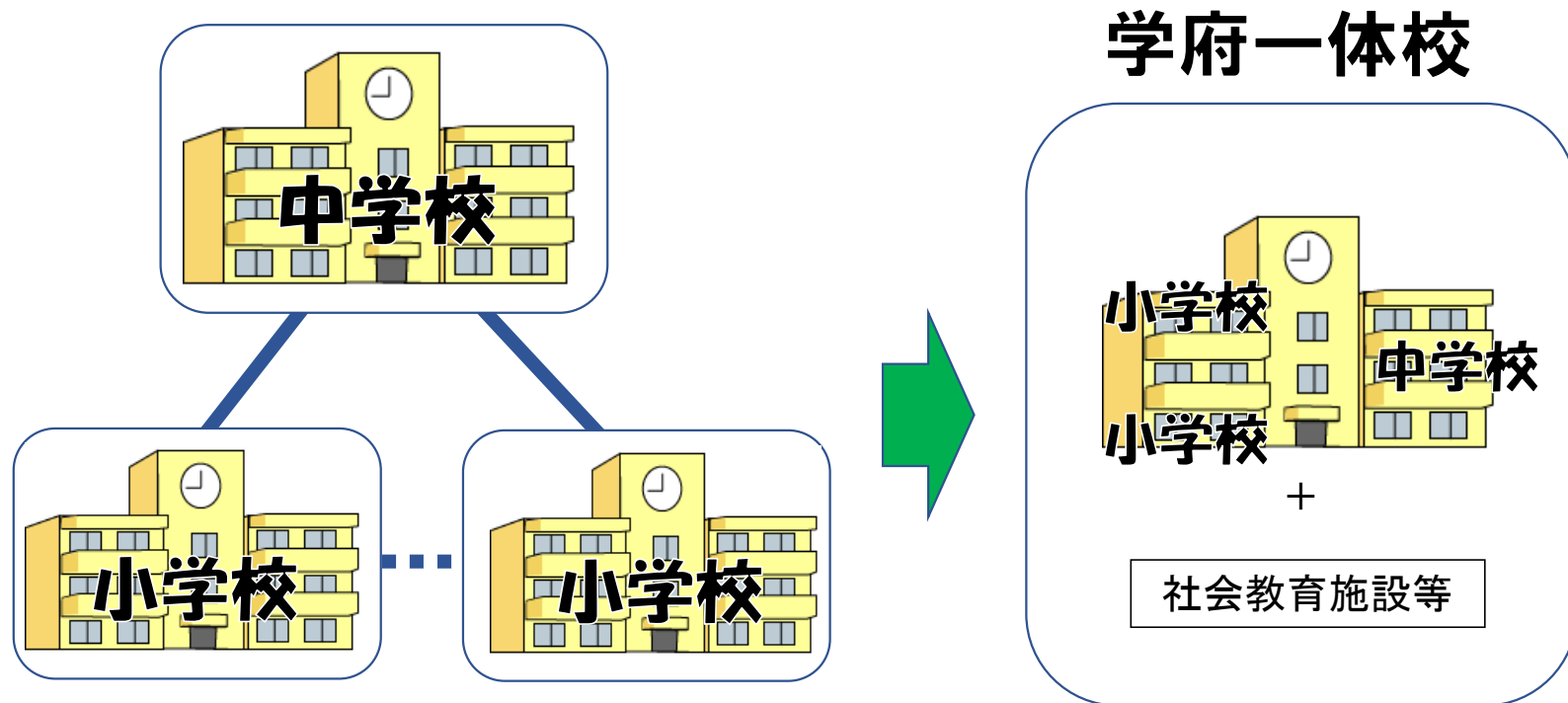
平成27年度「新時代の新たな学校づくり研究会」にて研究開始
～磐田市の教育をより充実発展させるために～

人間的なつながりが希薄になる中
人と人とのつながりが大切になる
“心の豊かさ”+“たくましさ”を



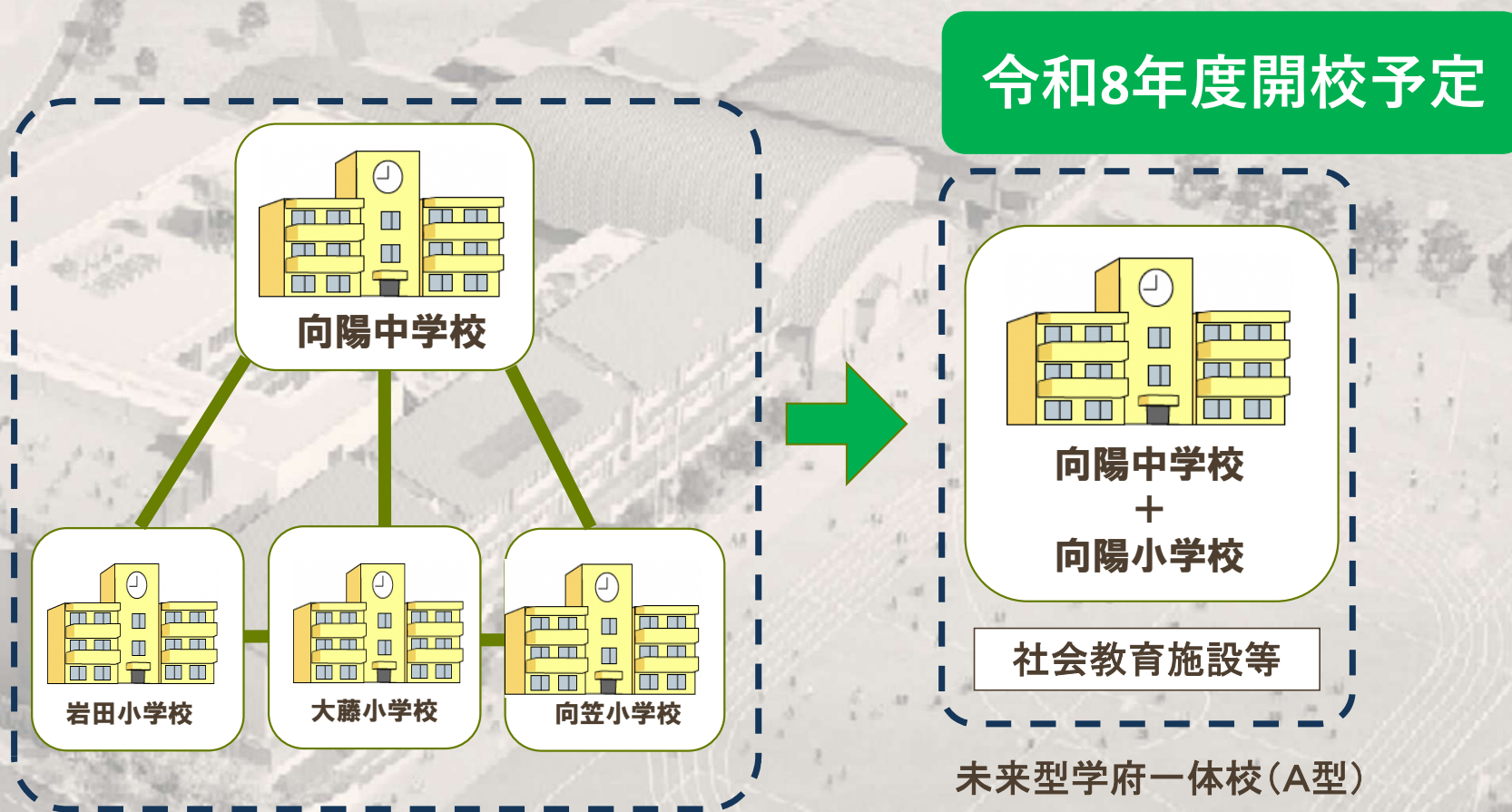
- ・小中一貫教育、コミュニティ・スクールのさらなる推進
- ・よりよい教育環境の充実を図る（学校施設の老朽化への対応も含む）
～人と人との「つながり」のさらなる進化～

未来型学府一体校（A型）



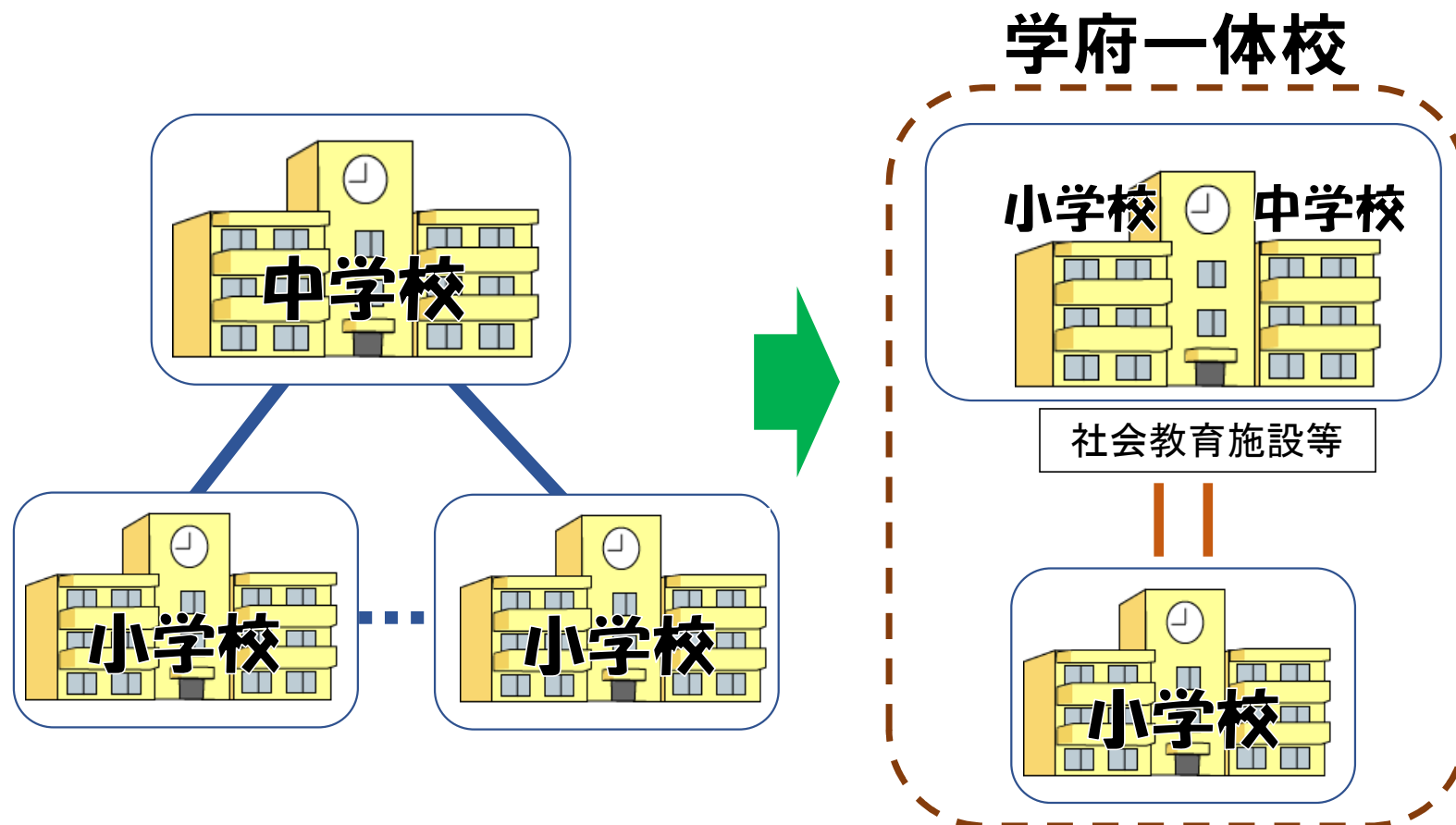
☆各学府にある小学校と中学校をすべて、施設一体型として一つの敷地に設置するもの

向陽学府一体校（A型）の方向性



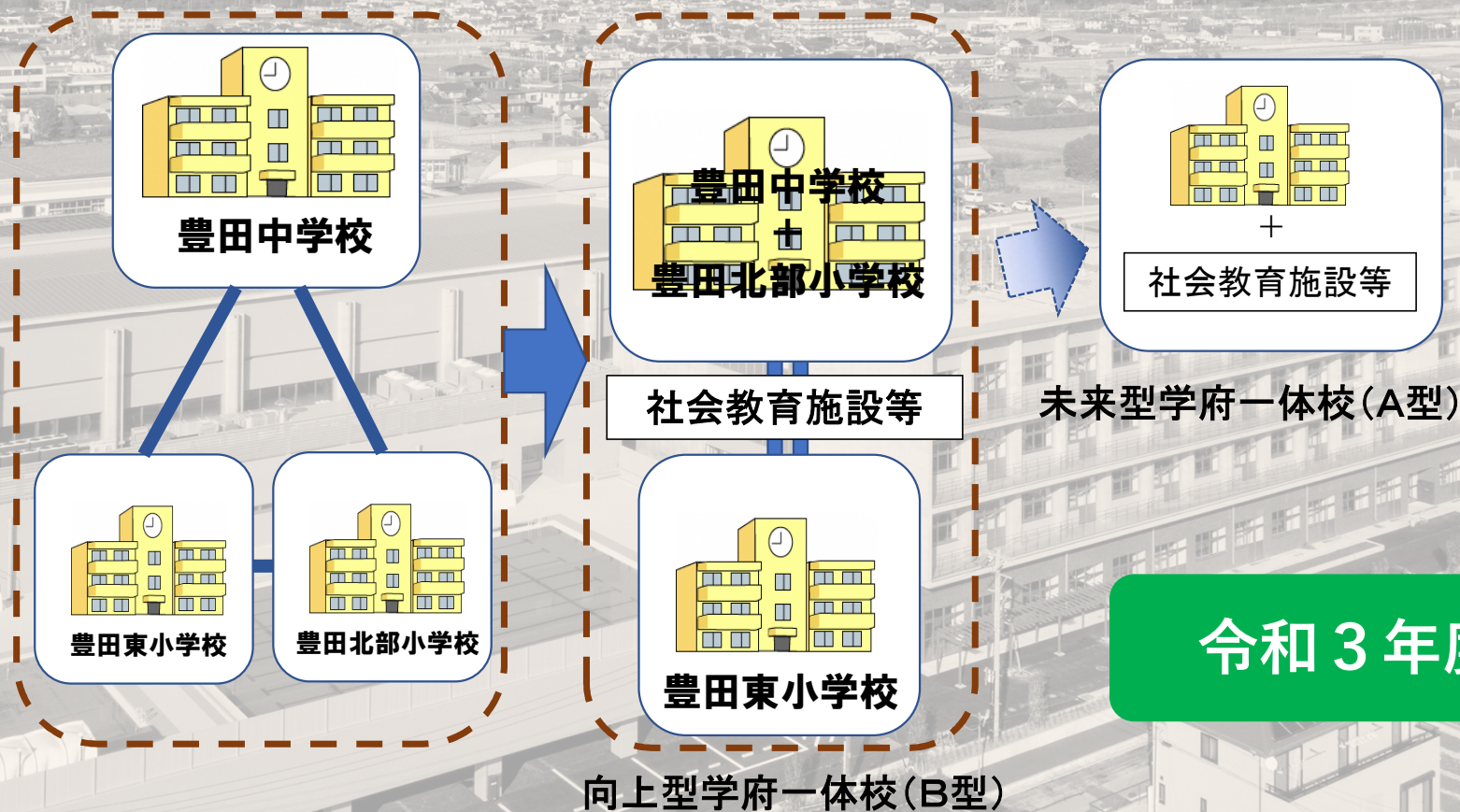
※ A型になることで、単学級からクラス替えができる規模に

向上型学府一体校（B型）



☆学府内に施設一体型の小中学校と既存施設で運営する小学校が存在するもの

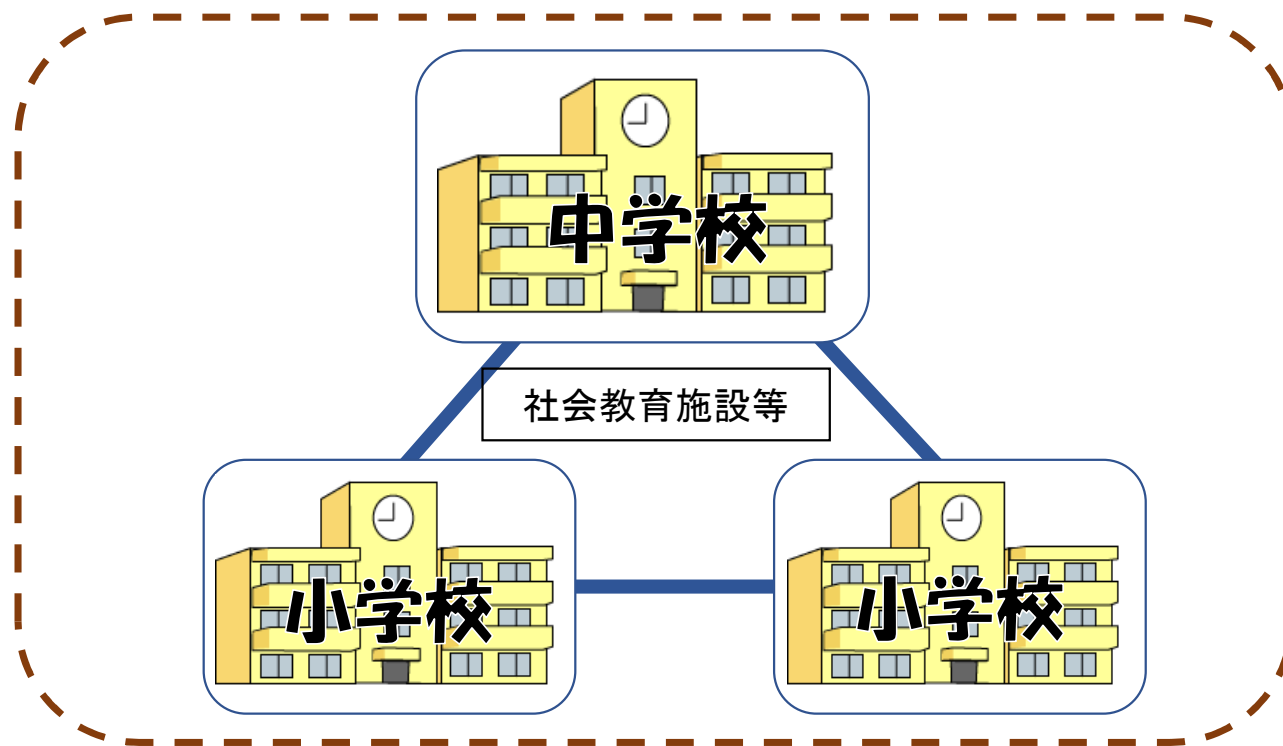
ながふじ学府一体校（B型）の方向性



令和3年度開校

充実型学府一体校（C型）

学府一体校



☆現在行われているように、既存施設のまま小中一貫教育を推進し、社会教育施設等を含むもの

磐田市の教育をより充実発展させるために

～将来を見据えた新時代の新たな学校づくり～

- ・ 小中一貫教育、コミュニティ・スクールのさらなる推進
- ・ よりよい教育環境の充実を図る（学校施設の老朽化への対応も含む）
～人と人との「つながり」のさらなる進化～

磐田市ならではの学府一体校の推進



地域や保護者の皆様との対話を通して
構想・具現

教育課題 ○施設の老朽化

建て替え費用

急激な施設整備費の高騰、労働時間の規制強化による工期の延長といった社会環境の変化



「ながふじ学府 約60億円」よりも高くなる可能性も

建て替え期間

構想から完成まで 「ながふじ学府 6年」
「向陽学府 8年」

教育課題 ○学校と地域の連携・共創

○学校と地域の連携・共創

- ・ 探究的な学び、キャリア教育等々、子どもたちの学びの充実・学びの選択肢の拡充
- ・ 支援を必要とする子ども（不登校・特別支級・外国人等）の支援
- ・ 部活動の地域展開
- ・ 教職員の働き方改革（学校が抱え込みすぎた業務、多様な生徒への対応等）・・・

▶ **地域の皆様方のお力が必要に（CSのさらなる充実）**

これからの学校には...

ハード面の整備とともに、ソフト面（地域の皆様方の協力）が必要

子育て・学びの環境の「共創」

放課後活動の支援・強化

■放課後児童クラブの民間委託化

- ◇民間活力を活用することにより、利用時間の延長や祝日の開所など、サービスの拡充を図る

質の高い学校教育等の推進

■向陽学府小中一体校の整備と 令和8年4月の開校に向けた準備

■学校体育館に空調設備を設置

- ◇小中学校体育館に空調設備を計画的に設置し、児童・生徒の安全を確保するとともに、指定避難所としての環境改善を図る

■水泳授業での学校外プールの活用検討

- ◇小中学校の水泳授業について学校外プールの活用を検討

質の高い学校教育等の推進

■富士見小学校増築に向けた実施設計

- ◇児童数に対する教室の確保のため、教室棟増築に向けた設計を行う

■磐田北小学校整備基本構想

- ◇整備に向けた調査と基本構想を地域との共創により進める

■校内教育支援センターの拡充

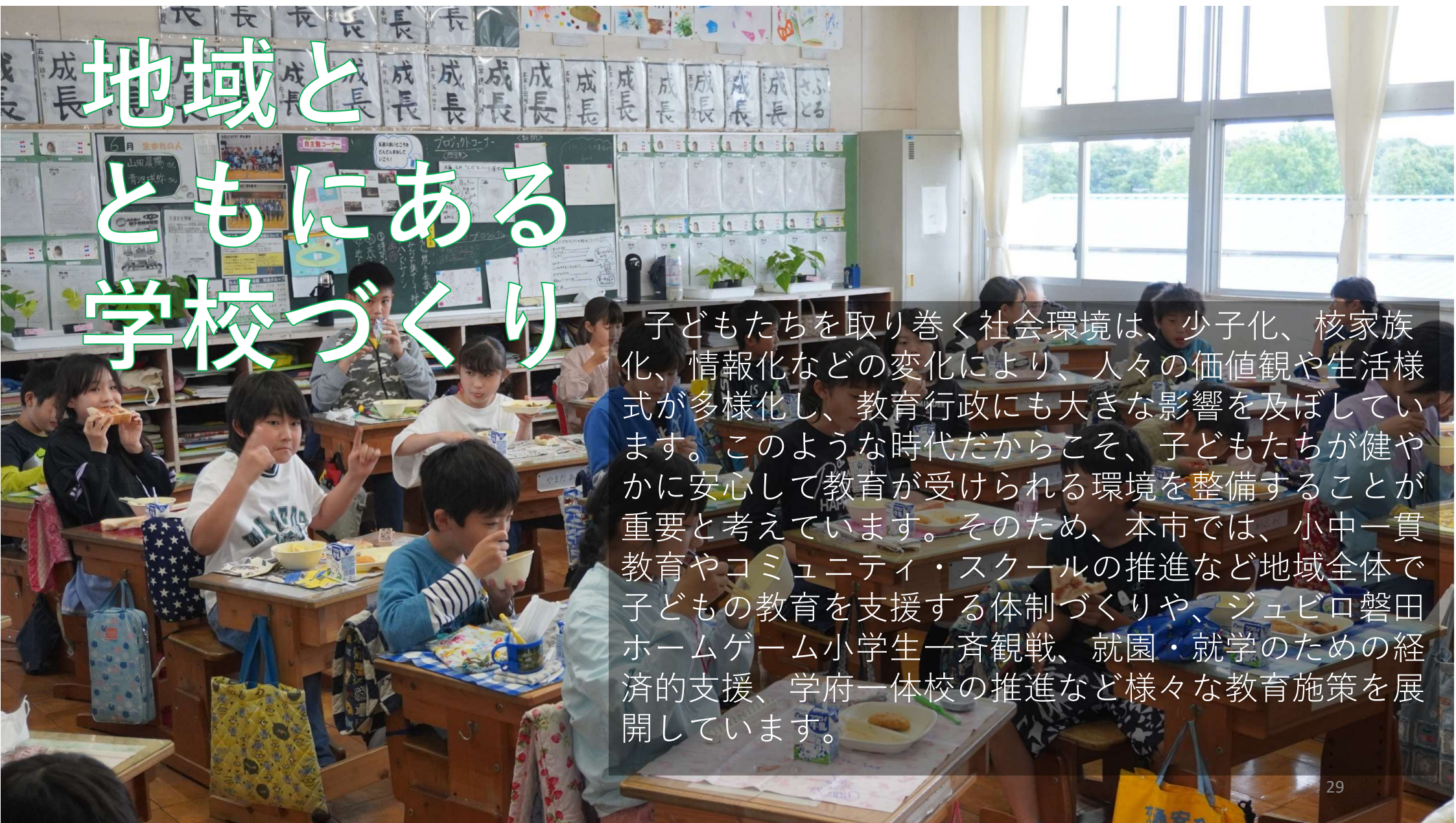
- ◇心の教室相談員の増員や環境整備により、校内教育支援センターを拡充する

■トイレ洋式化

- ◇トイレの使用頻度が高い普通教室棟や昇降口付近にあるトイレを、令和7年度までに重点的に改修する

■特別教室への空調設備の設置

- ◇使用頻度や学校要望が高い特別教室から空調設備を設置



地域と ともにある 学校づくり

子どもたちを取り巻く社会環境は、少子化、核家族化、情報化などの変化により、人々の価値観や生活様式が多様化し、教育行政にも大きな影響を及ぼしています。このような時代だからこそ、子どもたちが健やかに安心して教育が受けられる環境を整備することが重要と考えています。そのため、本市では、小中一貫教育やコミュニティ・スクールの推進など地域全体で子どもの教育を支援する体制づくりや、ジュビロ磐田ホームゲーム小学生一斉観戦、就園・就学のための経済的支援、学府一体校の推進など様々な教育施策を展開しています。